

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院 SCU に入院されリハビリテーション介入をさせていただいている脳卒中患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院 SCU におけるプロトコールを使用した段階的離床の効果の検討

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 阿河由巳

3. 研究の目的

脳卒中患者におけるリハビリテーションに関して、脳卒中ガイドラインでは、早期の ADL 向上と社会復帰を図るために、発症後早期から積極的なリハビリテーションを行うことが重要であるとされており、早期座位・立位といった離床が強く勧められています。また、早期離床は十分なリスク管理のもとで行う必要があり、脳卒中患者のリハビリテーションにおいては早期離床開始基準や中止基準、中止検討基準が設けられていますが、離床内容は明確に設定されていません。しかし、脳卒中患者では進行性脳卒中を呈する患者もおり、より安全な早期離床が求められます。これらのことから、当院では 2019 年より、SCU に入院した脳卒中患者に対して、プロトコールを使用した段階的離床を開始しました。今回、この段階的離床の効果を明らかにすることを目的とします。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

2017 年 12 月 1 日～2020 年 9 月 30 日までの間に当院 SCU に入院しリハビリテーションを行った患者さん

(2) 利用させて頂く情報

基本情報(年齢、性別、疾患名、合併症)、脳卒中重症度 (NIHSS、mRS)、在院日数、転帰先

(3) 方法

電子カルテから上記の調査項目を抽出します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 阿河由巳

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834 E-mail : aga.yumi@aijinkai-group.com